

大和市教育委員会 4 月定例会

日 時 令和4年4月21日

午前10時00分

場 所 教育委員会室

1 開 会

2 会議時間の決定

3 会議録署名委員の決定

4 教育長の報告

5 議 事

日程第1（議案第11号）大和市奨学生選考審査会委員の委嘱について

6 そ の 他

7 閉 会

議案第11号

大和市奨学生選考審査会委員の委嘱について

大和市奨学生選考審査会委員の委嘱について、審議願いたく提案する。

令和4年4月21日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本 隆夫

■教育委員会の権限に属する補助執行事務の管理及び執行の状況（10～3 月分）

【1】図書・学び交流課 学び交流係

1 社会教育委員会議運営事務

(1) 令和3年度 社会教育委員会議定例会(第32期)

	日 時	場 所	出席者
第3回	11月25日(木)15:30～17:00	生涯学習センター601 講習室	10人
第4回	2月17日(木)15:00～16:30	生涯学習センター601 講習室	10人

(2) 神奈川県社会教育委員連絡協議会第2回理事会

・日 時 10月25日(月)13:30～15:30

・出席者 1人

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン開催

(3) 社会教育委員連絡会議（主催：神奈川県教育委員会教育局県央教育事務所）

・日 時 10月

・出席者 2人

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催

(4) 家庭教育支援講座（主催：大和市社会教育委員会議）

・日 時 11月14日(日) 13:00～16:00

・場 所 大和ゆとりの森

・出席者 11人

(5) 知ることからはじめる人権啓発研修講座

（主催：神奈川県教育委員会教育局県央教育事務所・海老名市教育委員会）

・日 時 11月30日(火)13:30～16:00

・場 所 海老名市文化会館

・出席者 2人

(6) 神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会（主催：神奈川県社会教育委員連絡協議会）

・日 時 11月

・出席者 2人

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、動画配信によるweb開催

(7) 神奈川県公民館連絡協議会第63回県公民館大会

（主催：神奈川県公民館連絡協議会・川崎市教育委員会）

・日 時 1月28日(金) 13:30～16:00

・場 所 川崎市中原市民館

・出席者 2人

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、リモート併用開催

(8) 神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（横須賀市会場）

- ・日 時 1月
- ・出席者 2人

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催

(9) 神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（秦野市会場）

- ・日 時 2月
- ・出席者 1人

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催

(10) 神奈川県社会教育委員連絡協議会第3回理事会

- ・日 時 3月14日(月)13:30~15:30
- ・出席者 1人

*新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン開催

2 特別教室開放事業

<利用状況>（令和3年10月～令和4年3月）

	利用回数(回)	利用者数(人)
中央林間小	3	48
渋谷小	56	867
引地台中	9	84
渋谷中	114	1,388
光丘中	0	0
林間小	41	531
つきみ野中	0	0
大和小	42	466
緑野小	1	40
合計	266	3,424

【2】 図書・学び交流課 図書係

1 子ども読書活動推進会議運営事務

(1) 令和3年度 大和市子ども読書活動推進会議

	日 時	場 所	出席者
第3回	12月20日(月)	生涯学習センター610大会議室	7人
第4回	3月14日(月)	書面開催(※)	9人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、書面開催としました。

2 その他の読書推進活動

(1) 子ども読書よむ読むプラン(第4次大和市子ども読書活動推進計画)及び実施計画の策定

子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項の規定に基づき、本市の第4次子ども読書活動推進計画として、令和4年度～令和8年度を計画期間とする「こども読書よむ読むプラン」を策定しました。

また、本プランを効果的かつ計画的に実施するために、具体的な取組の内容と実施期間を定めた「こども読書よむ読むプラン実施計画」を策定しました。

(2) 第3回「YAMATO 図書館の道 古本まつり」11月

【新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止】

【3】スポーツ課

1 学校開放事業

学校名	校庭		体育館・武道場	
	利用件数（件）	利用人数（人）	利用件数（件）	利用人数（人）
北大和小	152	6,652	169	2,352
中央林間小	60	1,806	195	3,079
緑野小	100	5,337	249	6,195
林間小	98	5,271	166	3,557
南林間小	107	7,902	158	3,151
西鶴間小	98	5,238	186	3,048
大野原小	70	2,150	195	3,536
大和小	173	3,686	115	1,678
草柳小	87	3,258	185	2,844
文ヶ岡小	85	3,353	134	2,179
深見小	71	1,947	188	3,747
大和東小	99	2,642	182	2,425
柳橋小	54	1,114	112	1,646
引地台小	86	2,946	176	2,937
桜丘小	69	1,620	214	4,658
福田小	60	2,372	140	2,558
渋谷小	74	2,318	173	2,766
下福田小	67	1,649	127	2,108
上和田小	42	1,444	147	2,672
つきみ野中	14	1,520	271	6,762
鶴間中	0	0	163	3,549
南林間中	0	0	130	1,375
大和中	0	0	122	1,617
光丘中	0	0	293	5,679
引地台中	0	0	113	1,449
上和田中	0	0	105	1,494
渋谷中	86	1,665	268	6,118
下福田中	0	0	277	5,314
合計	1,752	65,890	4,953	90,493

※林間小・渋谷中については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、令和4年1月26日から2月2日までの間、学校開放事業を中止しました。

【4】 こども・青少年課

1 青少年キャンプ施設

■泉の森ふれあいキャンプ場

10月～3月 利用実績

	大人	高校生	中学生	小学生	幼児	合計
令和3年度 (人)	53	1	2	13	6	75
令和2年度 (人)	972	1	30	215	238	1,456
前年比 (%)	5.5	100	6.7	6.0	2.5	5.2

年間合計(4月～3月)利用実績

	大人	高校生	中学生	小学生	幼児	合計
令和3年度 (人)	53	1	2	13	6	75
令和2年度 (人)	2,070	32	54	392	394	2,942
前年比 (%)	2.6	3.1	3.7	3.3	1.5	2.5

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、令和3年4月1日から令和4年1月7日まで、また令和4年1月16日から3月31日まで施設を休場としました。

2 成人式

■2022やまと成人式

公募新成人を中心とした実行委員会により、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、開催しました。

日時：令和4年1月10日(月・祝)

【式典】第1部 10:30～11:15、第2部 13:00～13:45、第3部 15:30～16:15

【サテライト会場】10:00～16:00

会場：【式典】大和市文化創造拠点シリウス やまと芸術文化ホール メインホール
ほか

【サテライト会場】市内9中学校

対象者：2,176人

(H13.4.2～H14.4.1生まれでR3.11.1現在大和市に住民登録のある人)

参加者：【式典】1,487人(参加率 68.3%)

【サテライト会場】961人(参加率 44.2%)

3 親子ふれあい推進

■ふれあい広場

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、すべての地区及び小学校区(市内12地区と3小学校区を合わせた市内15カ所)でふれあい広場を中止しました。

4 青少年育成

■大和ユースクラブ（青少年社会・自然体験推進）

・わくわく冒険隊

：年2回（予定回数5回のうち、3回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。）

：延べ77人（小学5年生 延べ42人、小学6年生 延べ35人）

・ジュニアクラブ（中学生）、シニアクラブ（高校生）、ユースボランティア（青年）

：年21回（予定回数29回のうち、8回は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。）

：延べ93人（中学生 延べ24人、高校生 延べ33人、青年 延べ36人）

5 青少年指導者育成

■青少年センターまつり

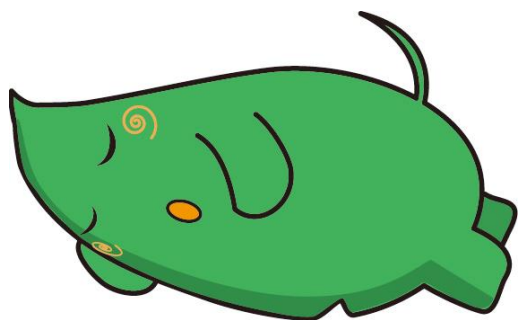
青少年団体の活動発表等の機会として、実行委員会への委託により青少年センターまつりを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。

■大和市子どもの外遊び地域イベント

大和市青少年指導員連絡協議会に委託し、市内12地区で実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。

令和3年度 大和市学習理解度調査

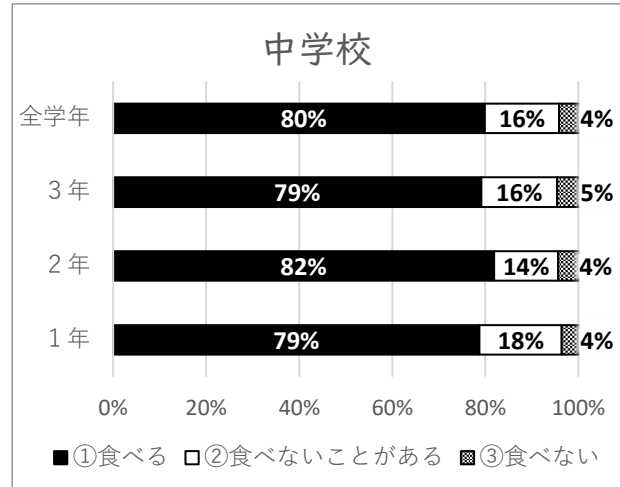
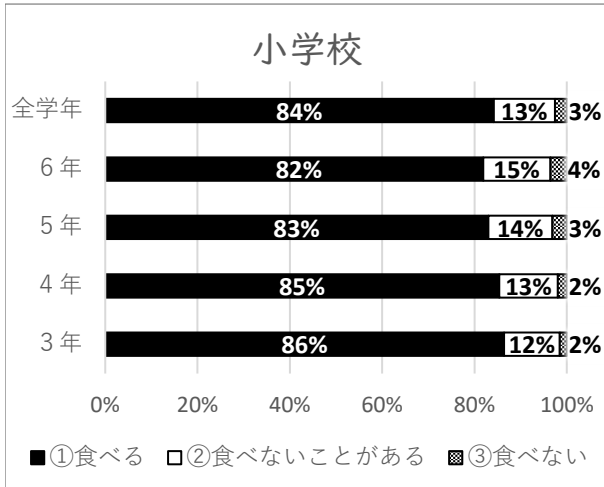
質問紙調査 小学校・中学校分析結果



大和市イベントキャラクター ヤマトン

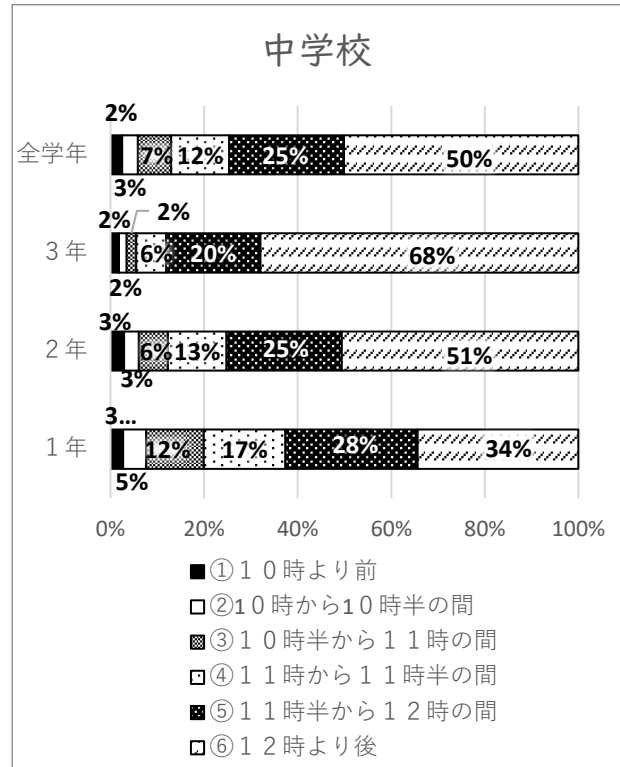
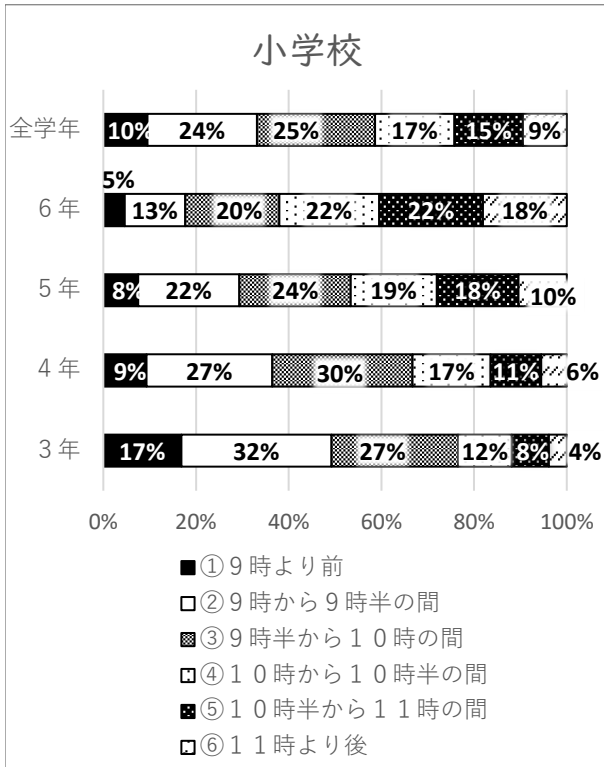
令和3年度 質問調査小学校・中学校分析結果

問1. 朝食を毎日食べますか。



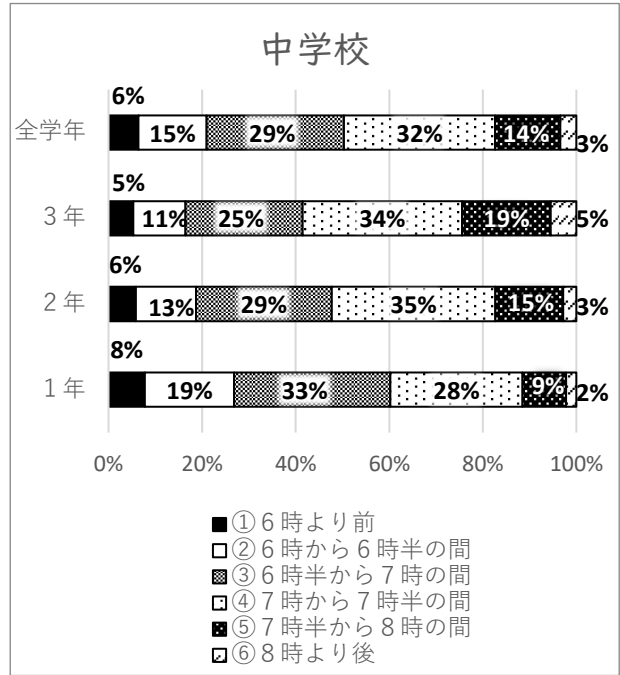
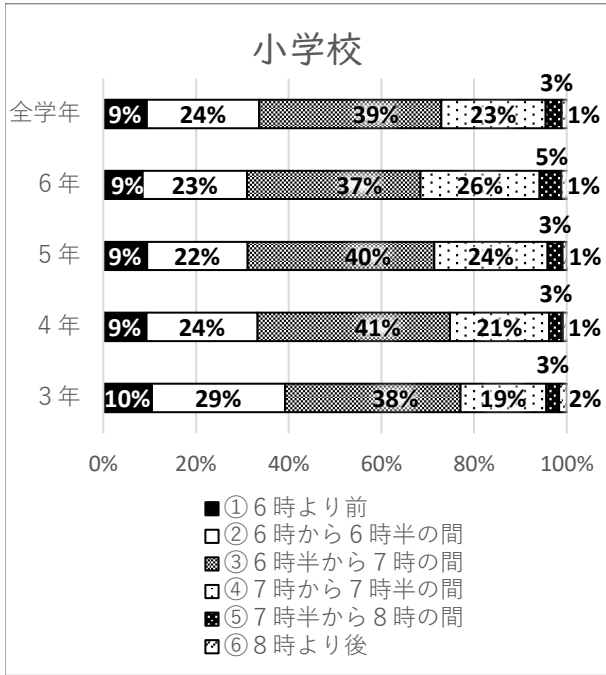
小学校・中学校共に朝食を食べている児童・生徒の割合は多い。平成31年度の全国学力・学習状況調査の全国平均（小・86.7%、中・82.3%）とも大差はなかった。朝食を食べない理由として、食事がストレスになる児童生徒や体質的な問題もあるため、個々の事情について配慮をしながら、生活習慣の改善につなげていくことが大切である。

問2. 普段（月曜日から金曜日）、何時くらいに寝ていますか。



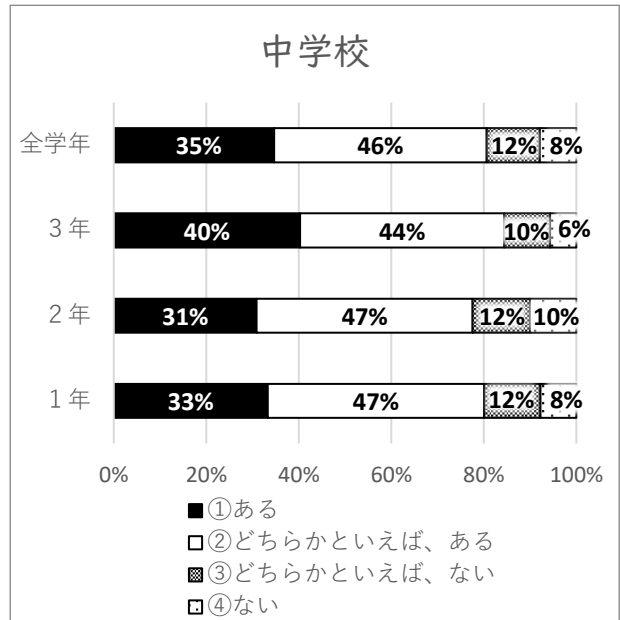
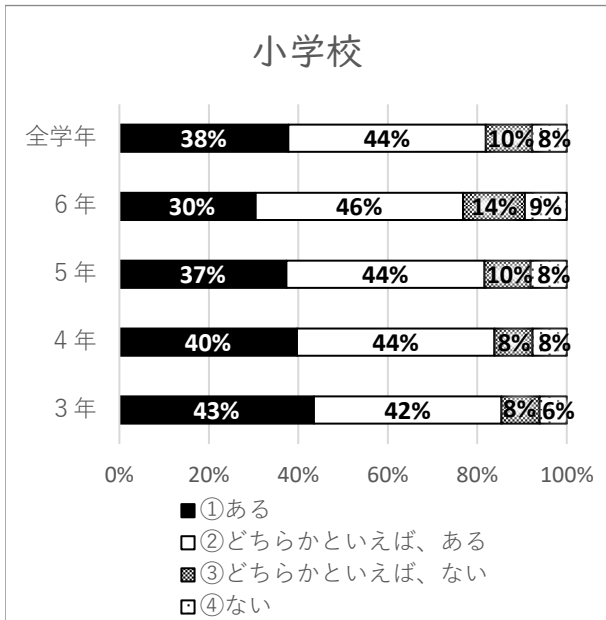
小学校・中学校共に学年が上がるにつれて、就寝時刻は遅くなっている。小6で11時以降の就寝が18%だったものが、中1では79%に増加している。中学校に進学して夜型に変化している。今後も睡眠の大切さについて継続して指導、啓発していく必要がある。

問3. 普段（月曜日から金曜日）、何時くらいに起きていますか。



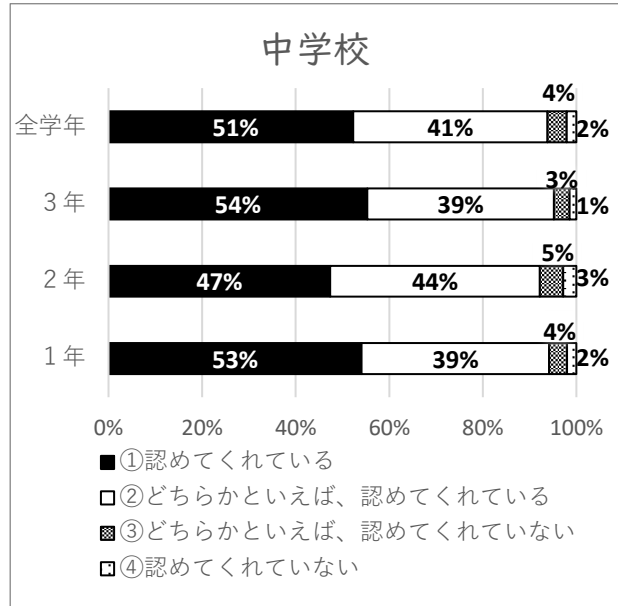
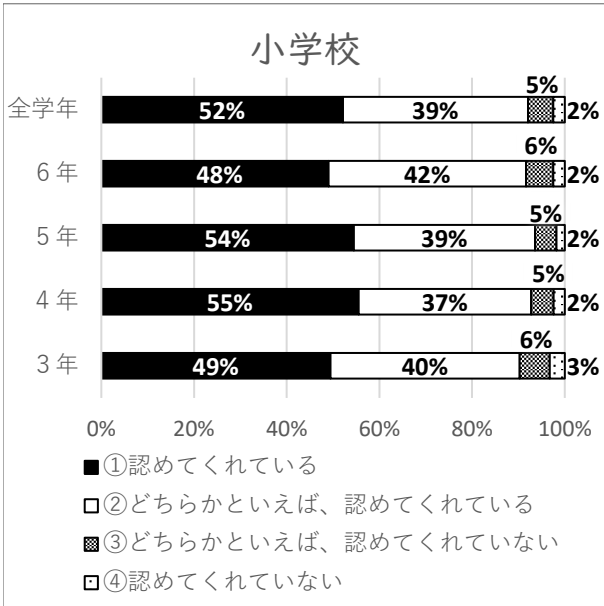
1校時開始時刻（8時半～9時）に脳を活性化させるためには、約2時間前（6時半～7時）には起床する必要がある。小学生の約3割、中学生の約5割が7時以降に起床していることが分かる。就寝時刻とも関係してくるが、今後も睡眠に関する指導、啓発を継続して行っていく必要がある。

問4. 自分にはよいところがあると思いますか。



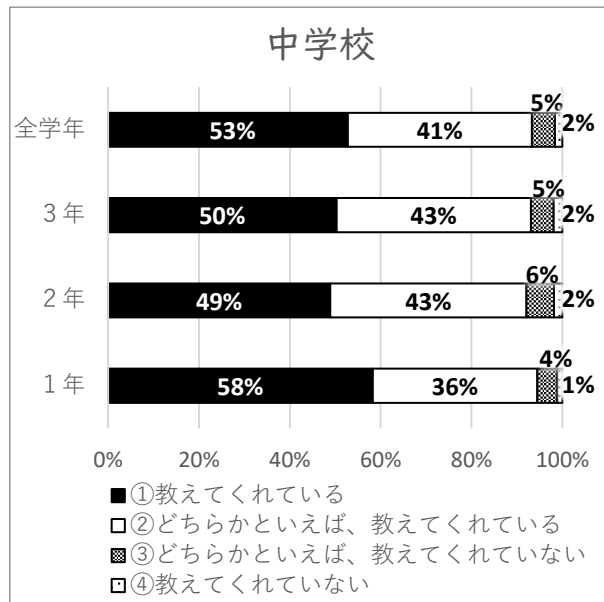
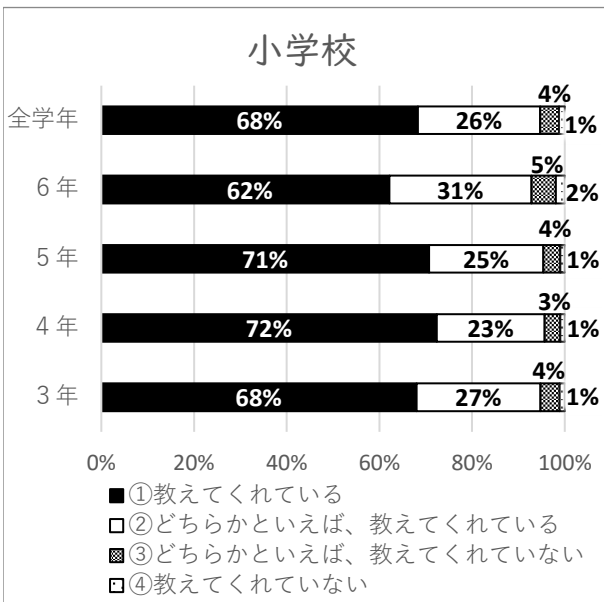
小学校・中学校共に約8割の児童・生徒が自分にはよいところが「ある」「どちらかといえば、ある」と回答している。全国学力・学習状況調査の経年変化を見ると、若干ではあるが、増えてきている。

問5. 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



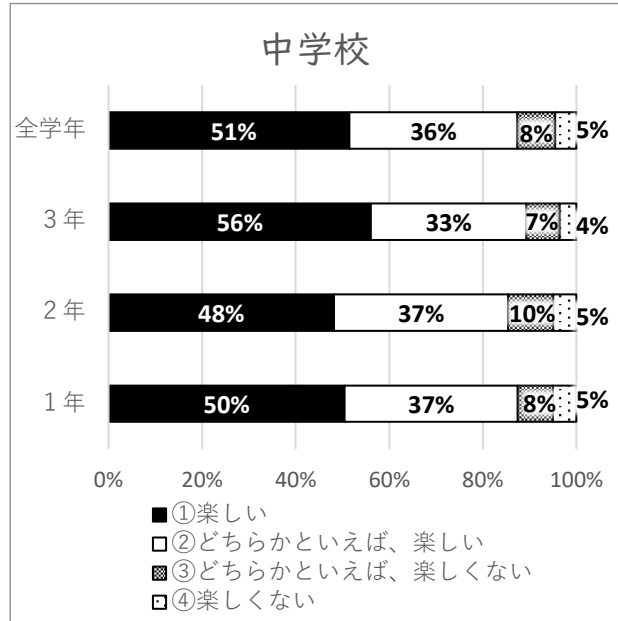
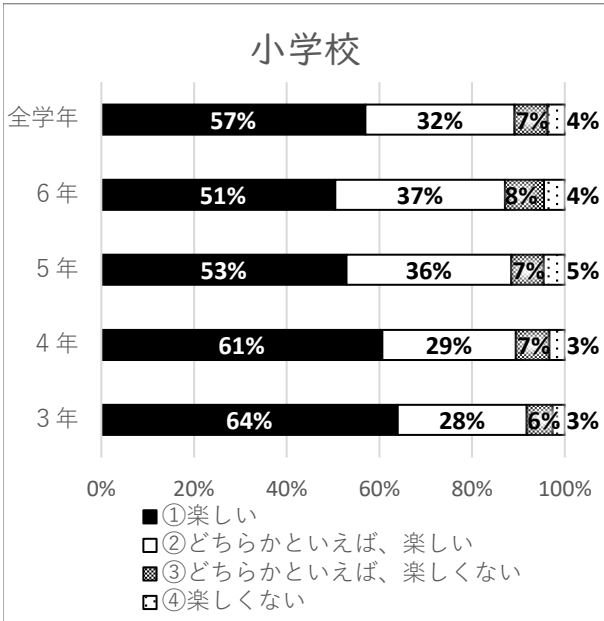
小学校・中学校共に、先生方は、子どもたちに対してよいところを見つけ、認めていることが分かる。特に中学校では、平成31年度の全国学力・学習状況調査の全国平均(①31.2%、②50.2%、③14.2%、④4.3%)と比べてもよいところを認めてくれていると思っている生徒の割合が高い。問4ともつながっていることだが、よいところを見つけ、認めることで自己肯定感も高まっているのではないかと考える。

問6. 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。



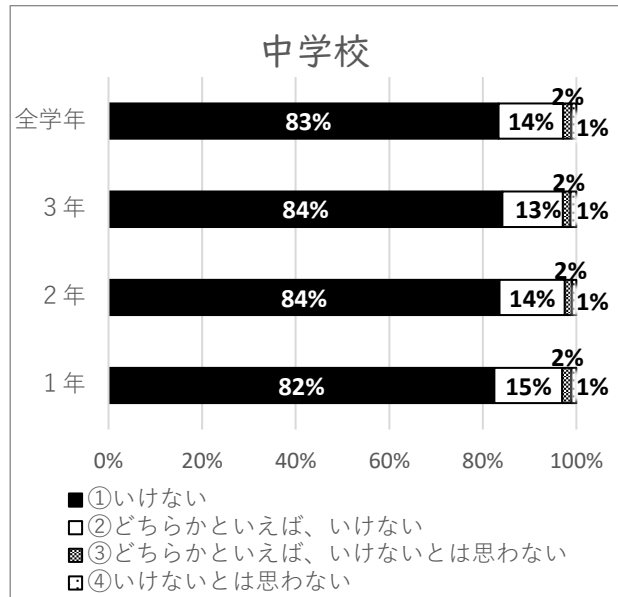
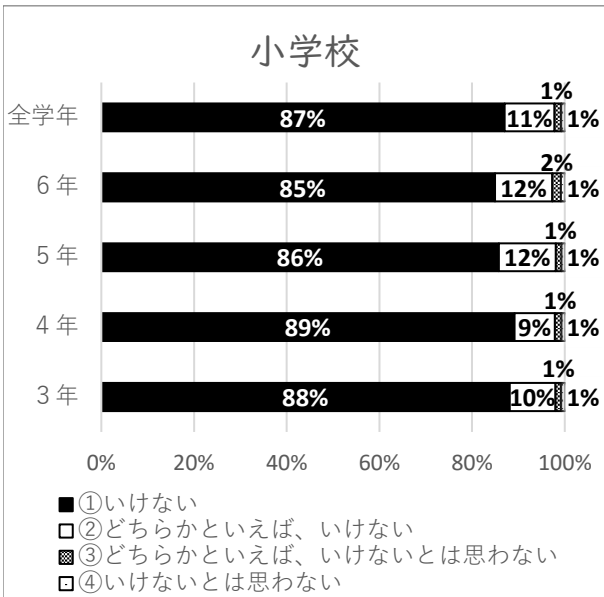
小学校・中学校共に先生方は、子どもたちが分かるまで、粘り強く教えていることが分かる。問5同様、特に中学校では、平成31年度の全国学力・学習状況調査の全国平均(①37.4%、②47.2%、③12.4%、④2.8%)と比べても教えてくれていると思っている生徒の割合が高い。また、平成28年度、29年度、31年度の大和市の平均を見ても「①教えてくれている」の割合は、H28・29.9%→H29・30.5%→H31・37.1%と徐々に増えており、先生方の授業改善が進んでいることが伺える。しかし、「教えてくれていない」と回答している少数の児童・生徒についても注視し、手立てを講じていく必要があると考える。

問7. 学校に行くのは楽しいですか。



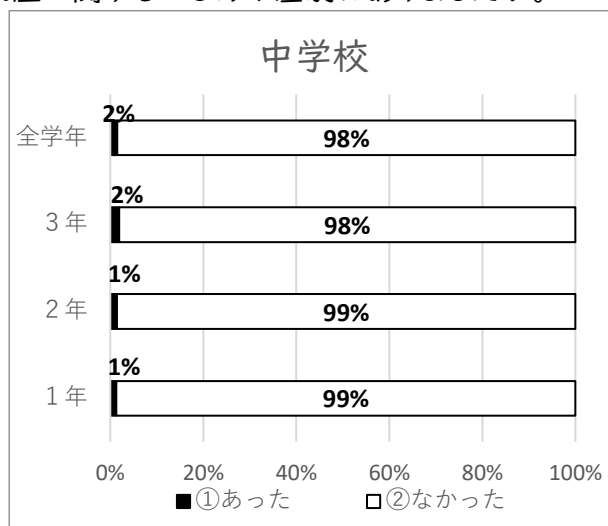
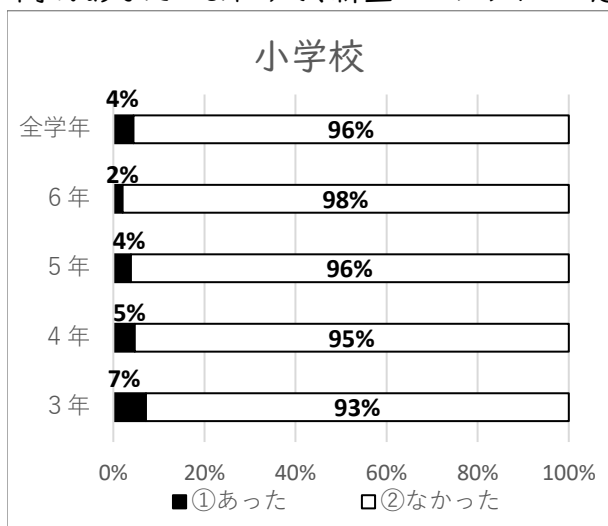
コロナ禍により、本年度も行事等が中止や縮小などの制約があったが、小学校・中学校共に8割以上の児童・生徒が学校に行くのは「楽しい」「どちらかといえば、楽しい」と回答している。平成31年度の全国学力・学習状況調査の全国平均(小・①54.0%、②31.8% 中・①45.8%、②36.1%)と比べても大差ないことが分かる。各学校がコロナ禍でも、工夫した教育課程を実施できたと考える。

問8. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



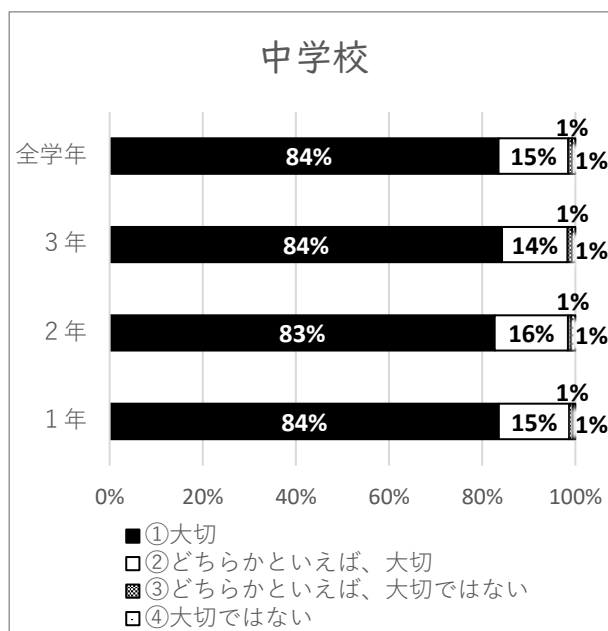
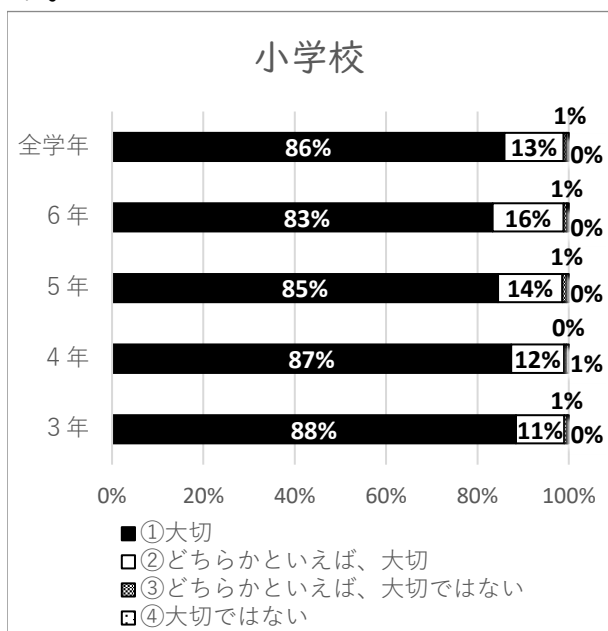
小学校・中学校共に、どの学年でもいじめはいけないと思っている児童・生徒の割合は高い。しかし、実際のいじめの発現率は一定数あることから、学級活動や道徳を中心に、教育活動全体を通して今後も指導していく必要がある。

問9. あなたのまわりで、新型コロナウイルス感染症に関するいじめや差別はありましたか。



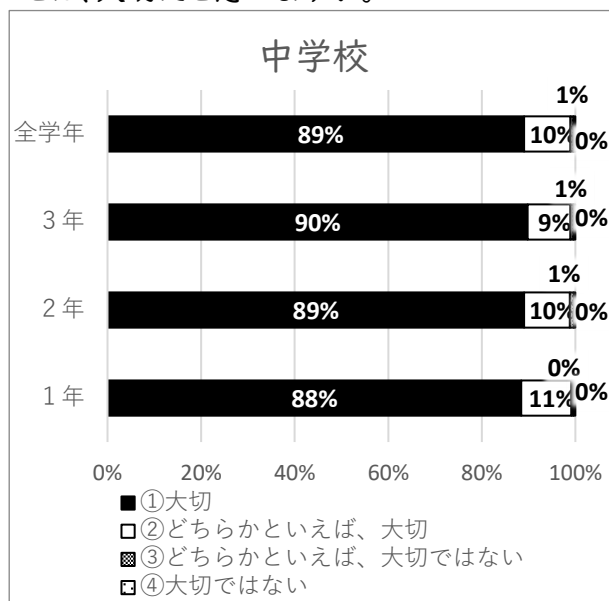
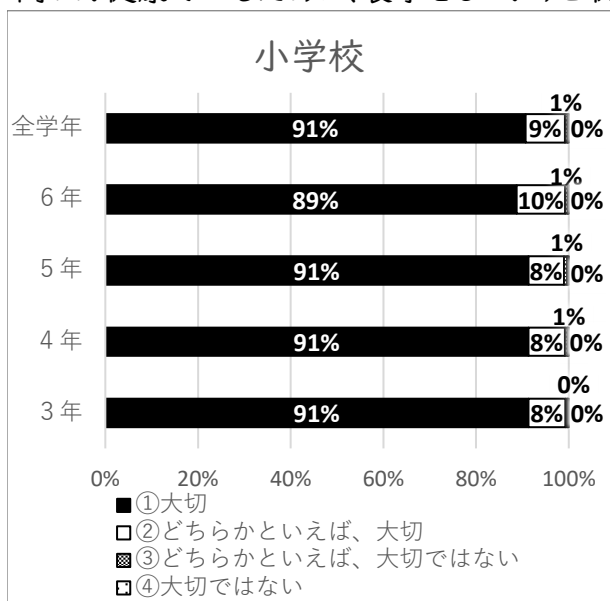
コロナに関するいじめや差別はほぼなかったと考える。各学校で学校再開後に丁寧に指導した結果ではないかと考える。今後は小学生児童もワクチン接種の対象となることから、接種の有無などが原因で、いじめや同調圧力などを受けることがないように、配慮ある対応が必要となる。

問10. 健康であるために、運動（体を動かす遊びを含みます。）を行うことは大切だと思いますか。



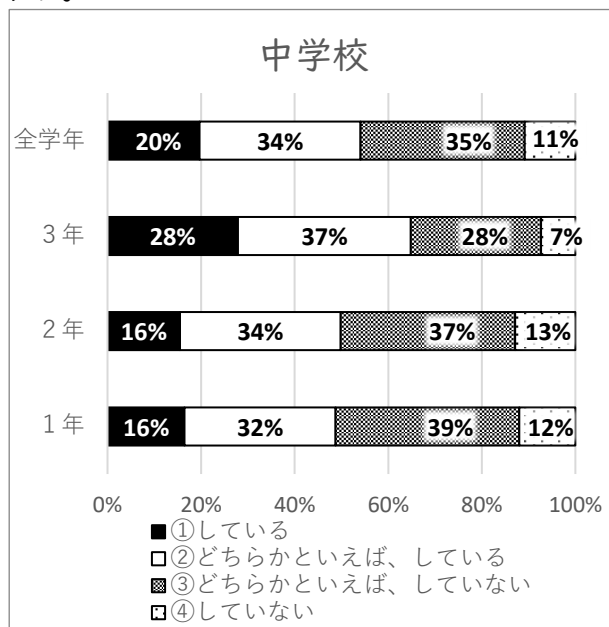
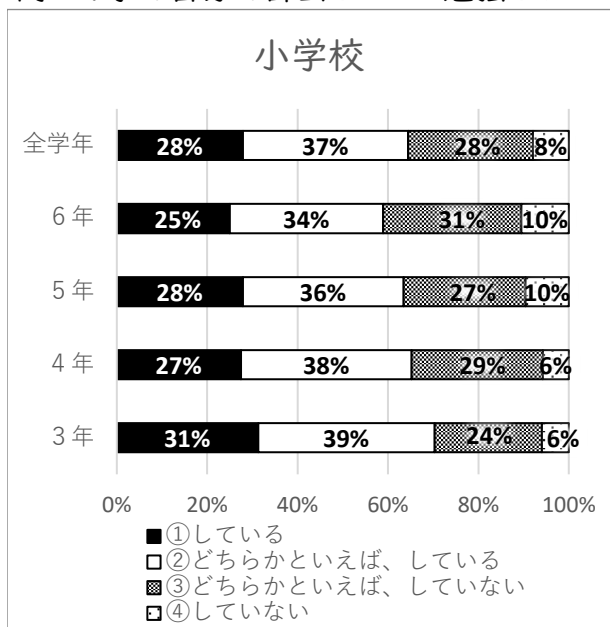
小学校・中学校共に、健康であるために、体を動かすことは大切だと考える児童・生徒の割合は高い。しかし、問18とも関連するが、実際は、テレビゲームやスマートフォン等を使っている時間が長い子どもたちの割合が高い。コロナ禍により、身体を動かす機会が減っている状況もあり、頭では体を動かすことはよいと思っても、実際体を動かしている子どもたちは少ないのかもしれない。

問11. 健康であるために、食事をしっかりと取ることは、大切だと思いますか。



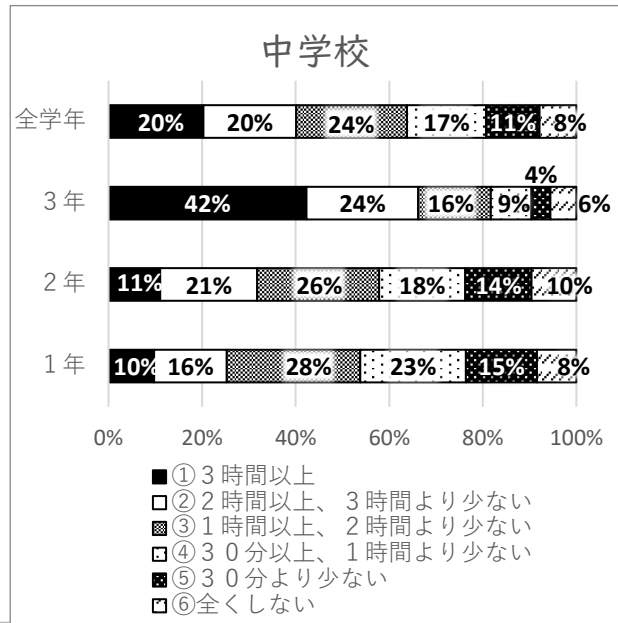
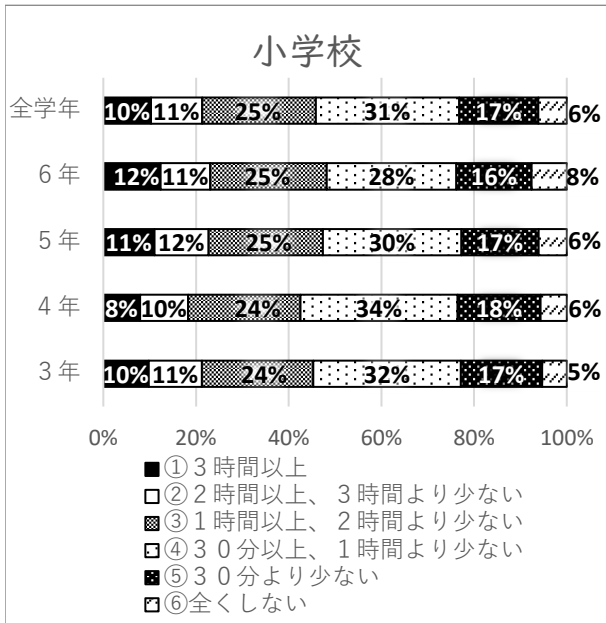
問1で朝食を食べている子どもたちの割合が高かったことから、食事をしっかりと取ることは大切だと考え、実践しているようである。

問12. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



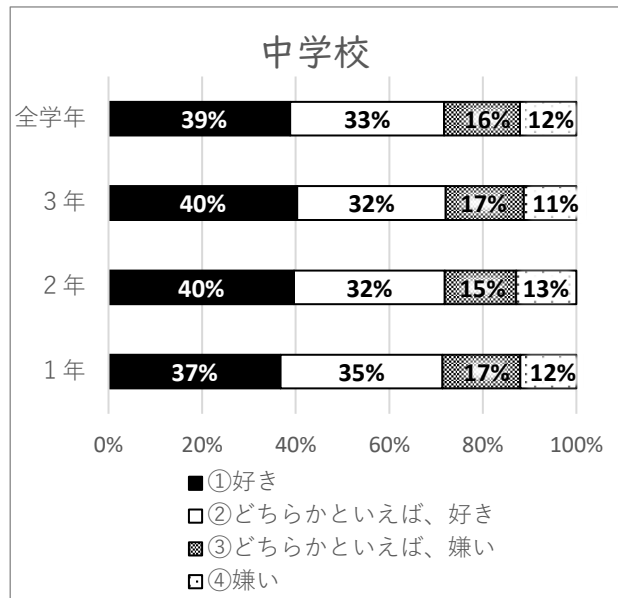
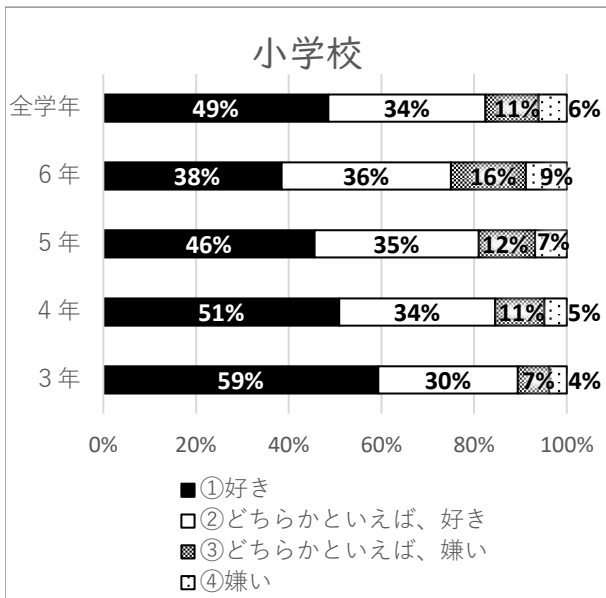
小学校高学年の「④していない」の割合が平成31年度の全国学力・学習状況調査の全国平均(5.4%)と比べると2倍近くいる。中学校は全国平均が(12.2%)であることから、全国平均並みである。学校では、学習課題を課すだけでなく「どのように学ぶか」という学び方や家庭学習の取り組み方を子どもたちと確認するとともに、家庭にも啓発していく必要があると考える。

問13. 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や寺子屋で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含まれます。）



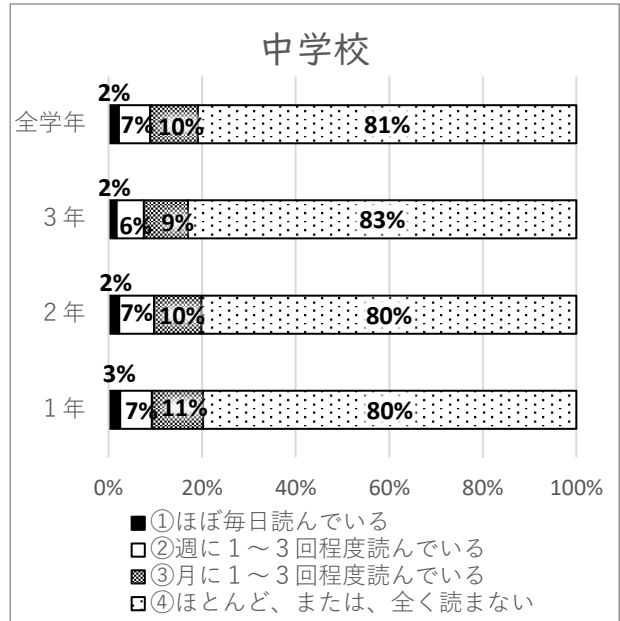
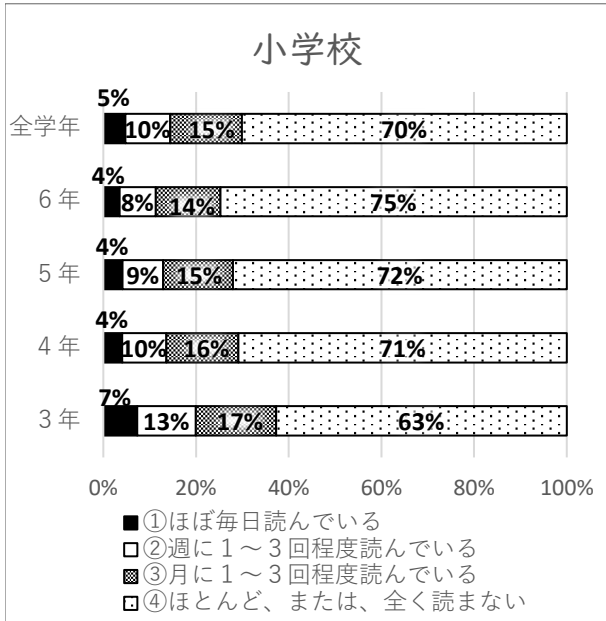
小学校・中学校共に約2割の児童・生徒が平日30分より少ない学習時間であることが分かる。中3は別として、この割合は、小3～中2までほぼ変わらない。計画的に家庭学習を行っていない割合も小3～中2までほぼ変わらないことから、今後は、計画的に学習する方法を身につけさせることや、授業で学んだことを家庭でももっと学びたいと思わせることが必要になるのではないかと考える。また、問18とも関連するが、ゲームやスマートフォンを使用する時間が長いので、必然的に学習する時間が短くなっていることも考えられる。

問14. 読書は好きですか。



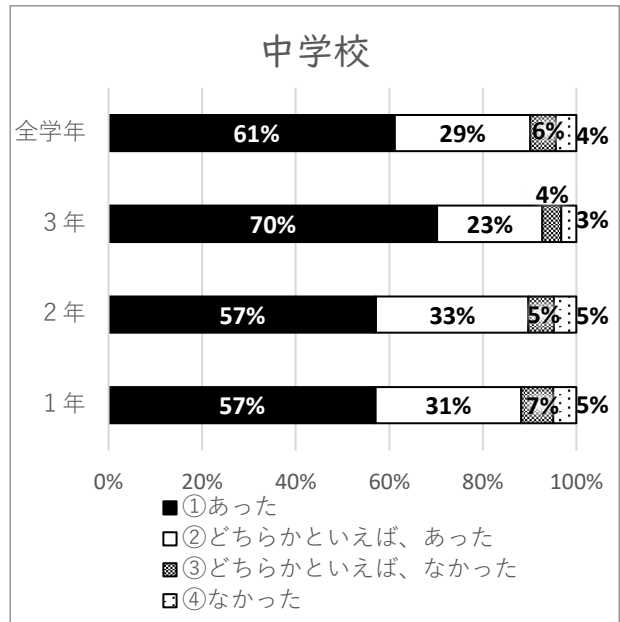
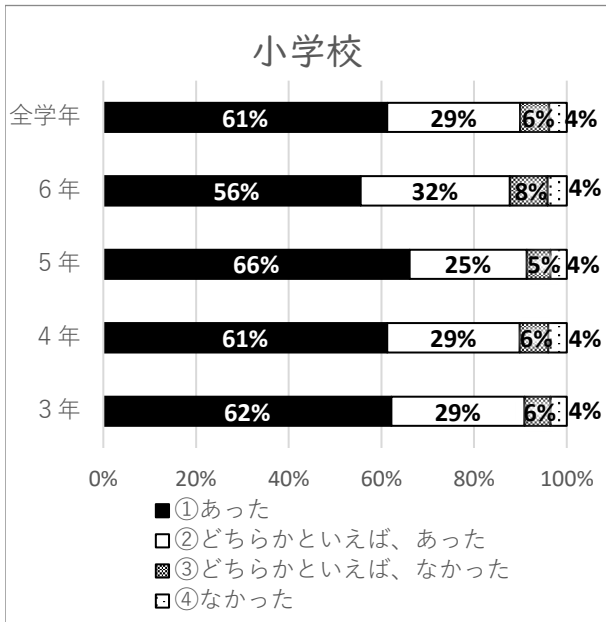
読書が「好き」「どちらかといえば、好き」の小3の割合は89%、中3の割合は72%である。学年が上がるにつれて授業時間内で読書をする時間が減ってしまうことも要因の一つと考えられる。そこで、授業時間内だけでなく、読書をする時間を取ったり、本を紹介する時間を設けたりすることで、本好きの割合を減らさないことにつながるのではないかと考える。また、学校司書を有効に活用し、様々なジャンルの本について魅力を伝えることもできるのではないかと考える。

問15. 新聞を読んでいますか。(学校にある新聞を読む回数も含みます。)



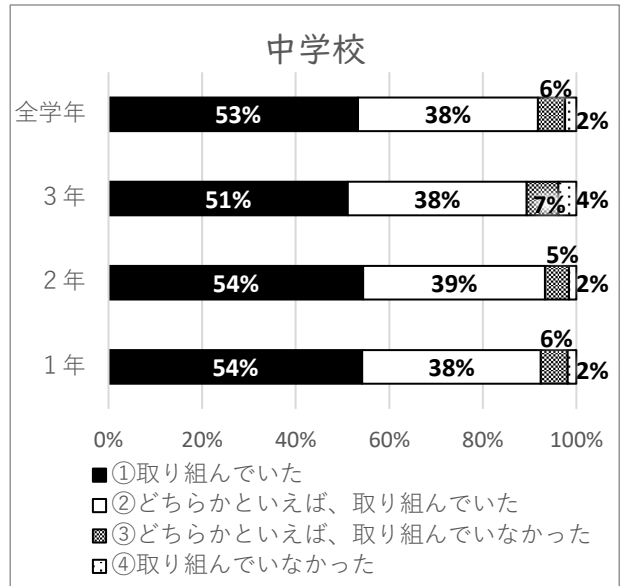
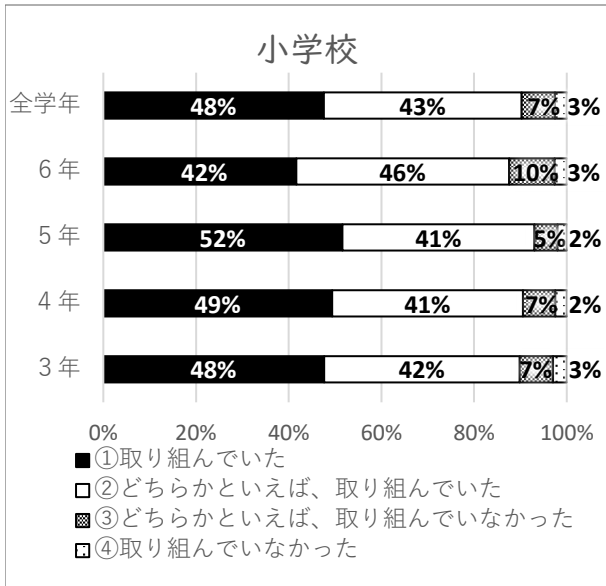
新聞を「ほとんど、または、全く読まない」割合が平成31年度の全国学力・学習状況調査の平均(小・61.2% 中・70.9%)と比べても高い。各家庭で新聞を定期購読する世帯が減ってきていることも関係しているかもしれないが、大和市では、平成29年1月から小5~中3の各教室、学校図書館に子ども新聞を配架している。ぜひ、学校に配架している新聞を活用して授業を行ったり、日々起きているニュースを新聞記事を使って紹介したりすることで子どもたちが新聞に興味をもち、手に取るようにさせたい。

問16. 今年、学級のみんで協力して何かをやりとげ、うれしかったことはありますか。



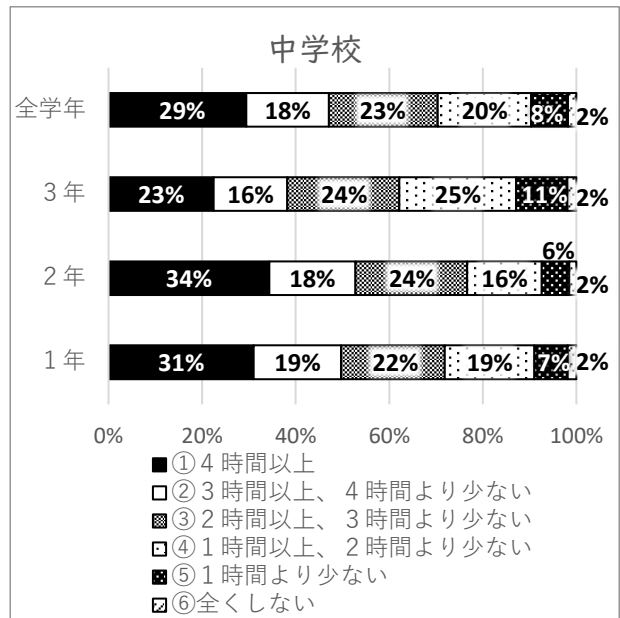
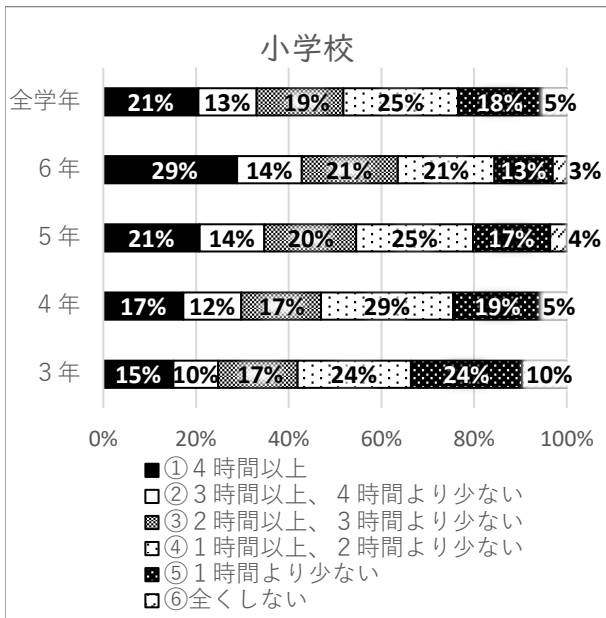
小学校・中学校共に9割の児童・生徒が学級のみんで協力してなにかをやりとげ、うれしかったと感じているようである。コロナ禍における制約ある学校生活の中でも、各学校が、学校行事を大切に、子どもたちの活動を工夫し、取り組んだことで、多くの子どもたちがやり遂げた充実感を味わえたようである。

問17. 今年、道徳の時間で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか。



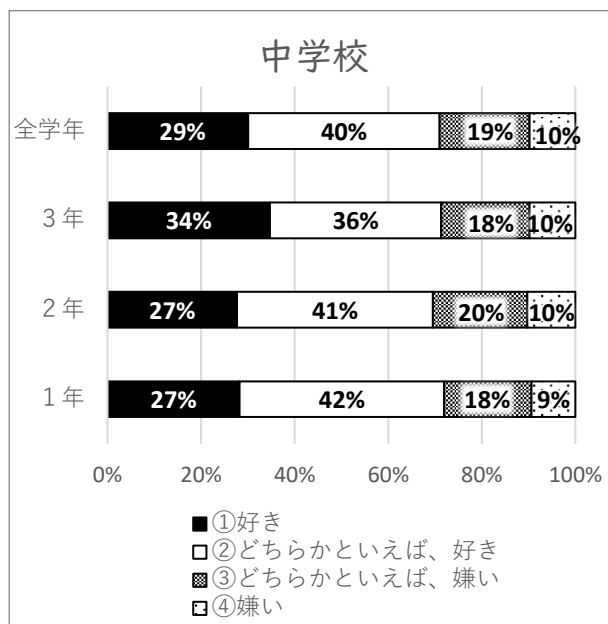
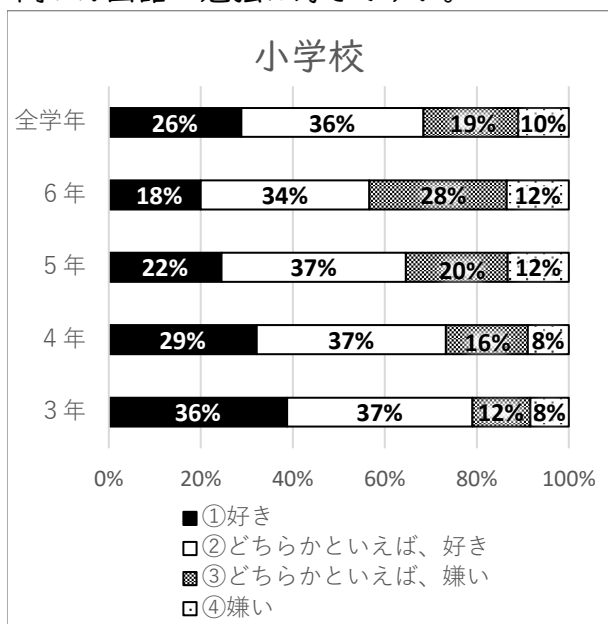
道徳科は、平成30年度から他教科を先行し、新学習指導要領を全面実施している。大和市としても道徳科の授業の進め方等の助言を行い、授業中に登場人物の心情の変化のみを読み取るのではなく、自分事として、「考え・議論する道徳」の実践を進めてきている。今年の結果からも、コロナの影響で友達と話し合う活動が制限されていたにもかかわらず、90%以上の児童・生徒が話し合っていたと回答している。各学校工夫して道徳科の授業実践が行われていたのではないかと考える。

問18. 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強以外で、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンなどを使ったゲームも含みます。）をしたり、携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール、インターネット（ユーチューブ等で動画を見ることも含みます。）をしますか。



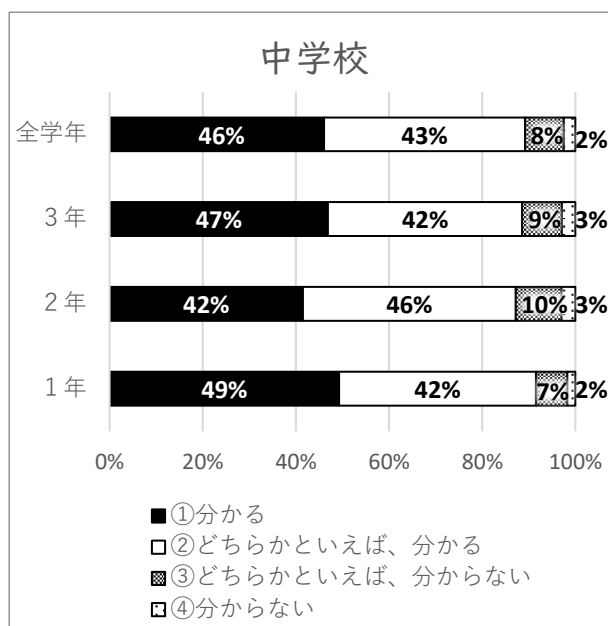
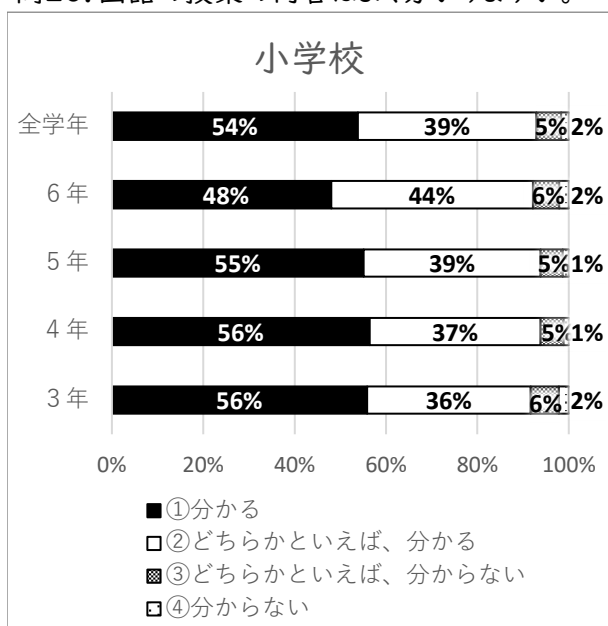
小5～中3の20%以上の児童・生徒が平日の1日平均4時間以上、ゲームやスマートフォン等での動画視聴等に時間を割いていることが分かる。1人1台端末の導入により、子どもたちが今後さらにデジタル端末等を使用する時間が長くなることが考えられる。ICTスキルの向上と併せて、目の健康や情報モラル等について今後も子どもたち、保護者に指導、啓発していく必要があると考える。

問19. 国語の勉強は好きですか。



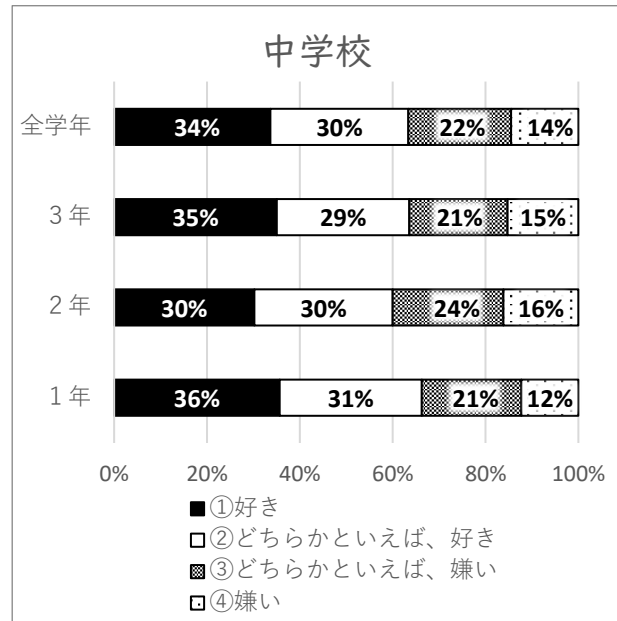
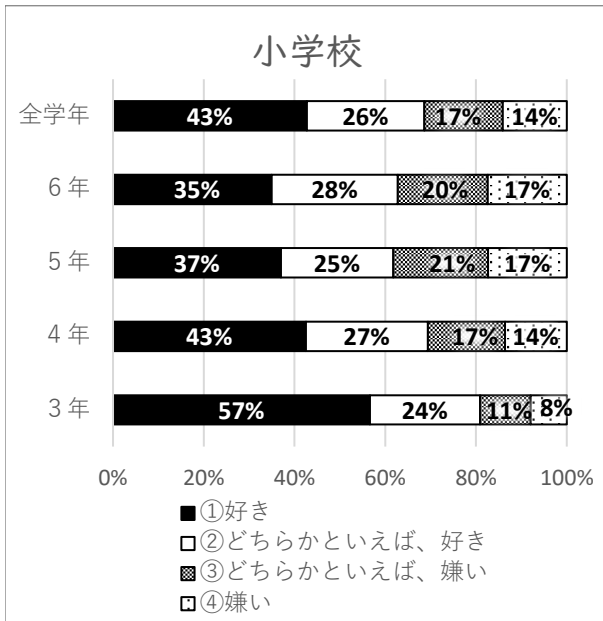
問20とあわせて分析

問20. 国語の授業の内容はよくわかりますか。



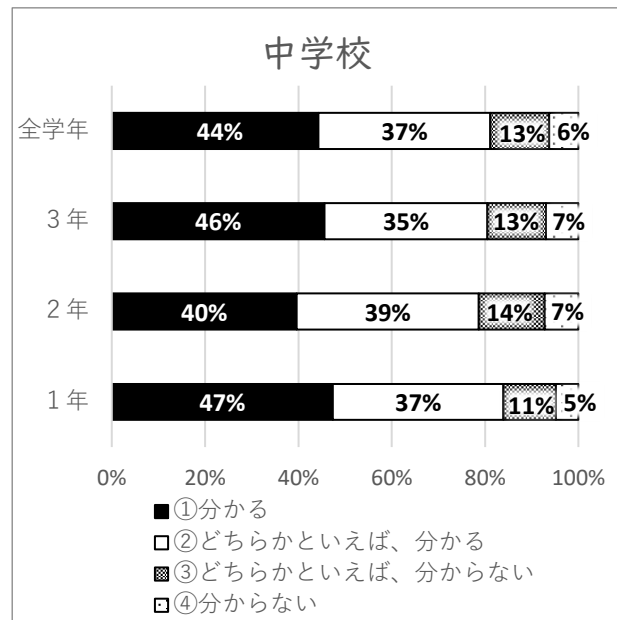
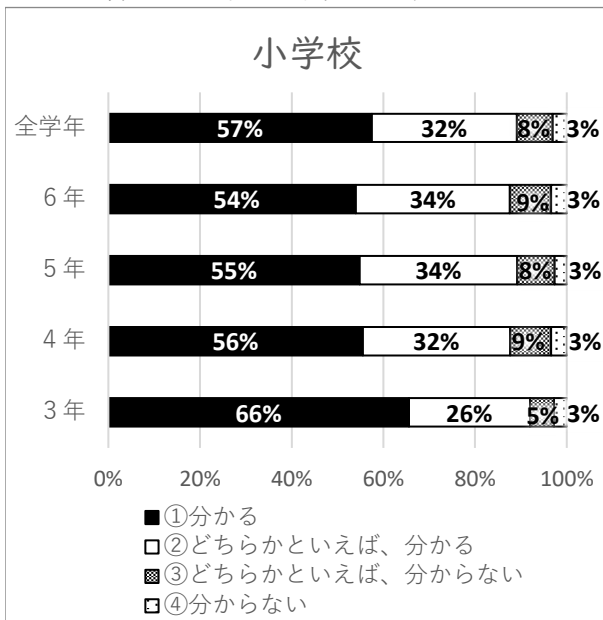
問19で、国語が「好き」「どちらかといえば、好き」と回答した児童・生徒は60～70%だが、国語が「①分かる」「②どちらかといえば、分かる」と回答した児童・生徒は約90%近くいる。この結果は、平成31年度全国学力・学習状況調査の全国平均(小・①41.4% ②43.6% 中・①28.7% ②49.1%)よりも高い。各学校でわかる授業の展開がされた結果ではないだろうか。今後も、児童・生徒の学習意欲が向上するような授業展開等を検討していくことを期待したい。

問21. 算数・数学の勉強は好きですか。



問22とあわせて分析

問22. 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

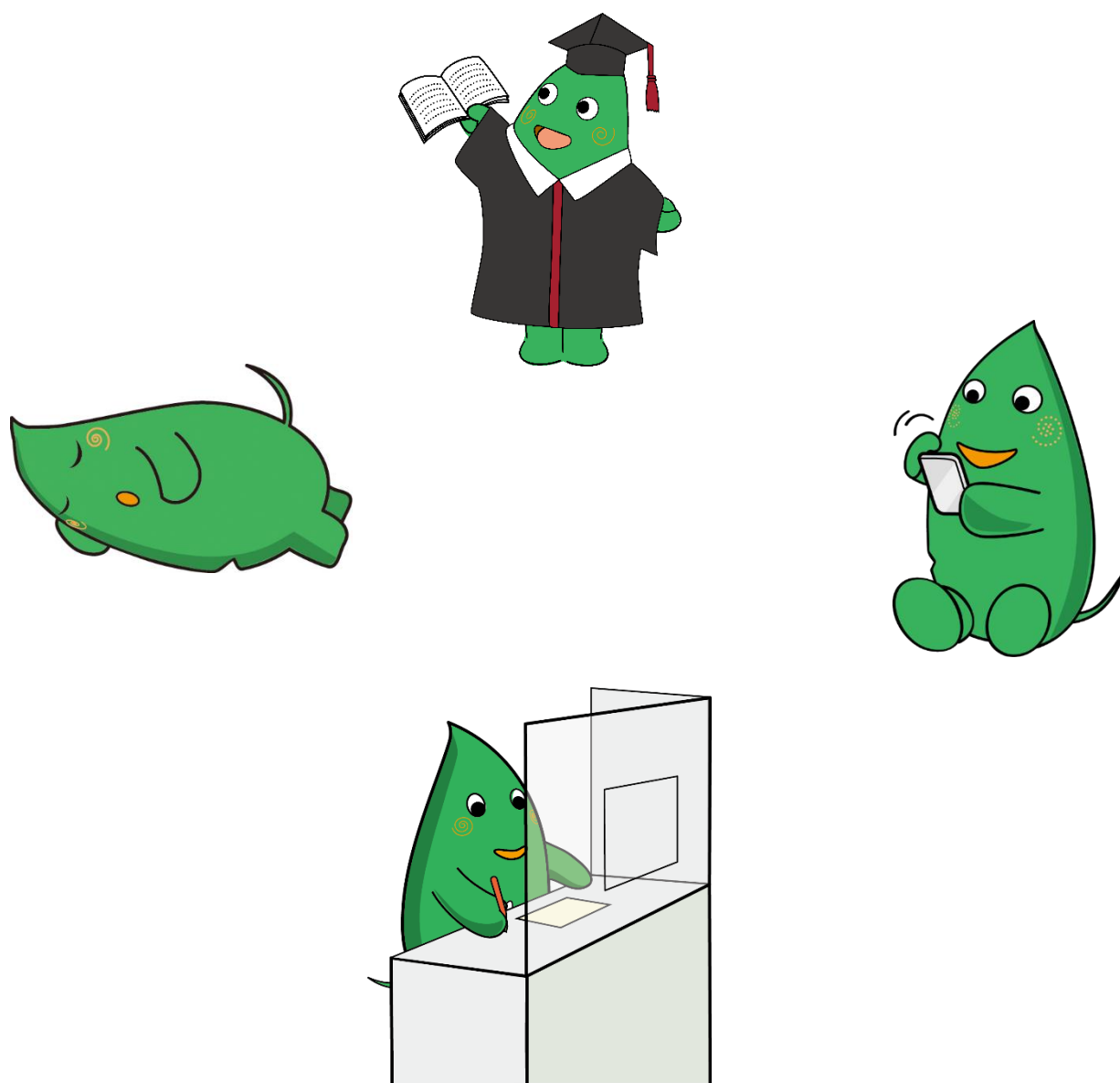


国語同様、算数・数学が「好き」「どちらかといえば、好き」の割合よりも、算数・数学が「わかる」「どちらかといえば、わかる」と回答している子どもたちの割合が高い。国語と比べると、「どちらかといえば、分からない」「分からない」と回答している子どもたち(特に中学生)の割合が高いことから、これからも子どもたちのつまずきを丁寧に見取り、手だてを講じたうえで次学年に繋げる支援を取り続けなければならないと感じる。

令和3年度

大和市学習理解度調査・質問紙調査

クロス集計結果



クロス集計から見えてきたこと

教育委員会指導室

規則正しい生活を送ることと、学力の相関関係は大いにあると考える。8割以上の児童生徒が毎日朝食を食べているので、朝食に対する意識は、子どもたちにも保護者にも定着してきていると考える。

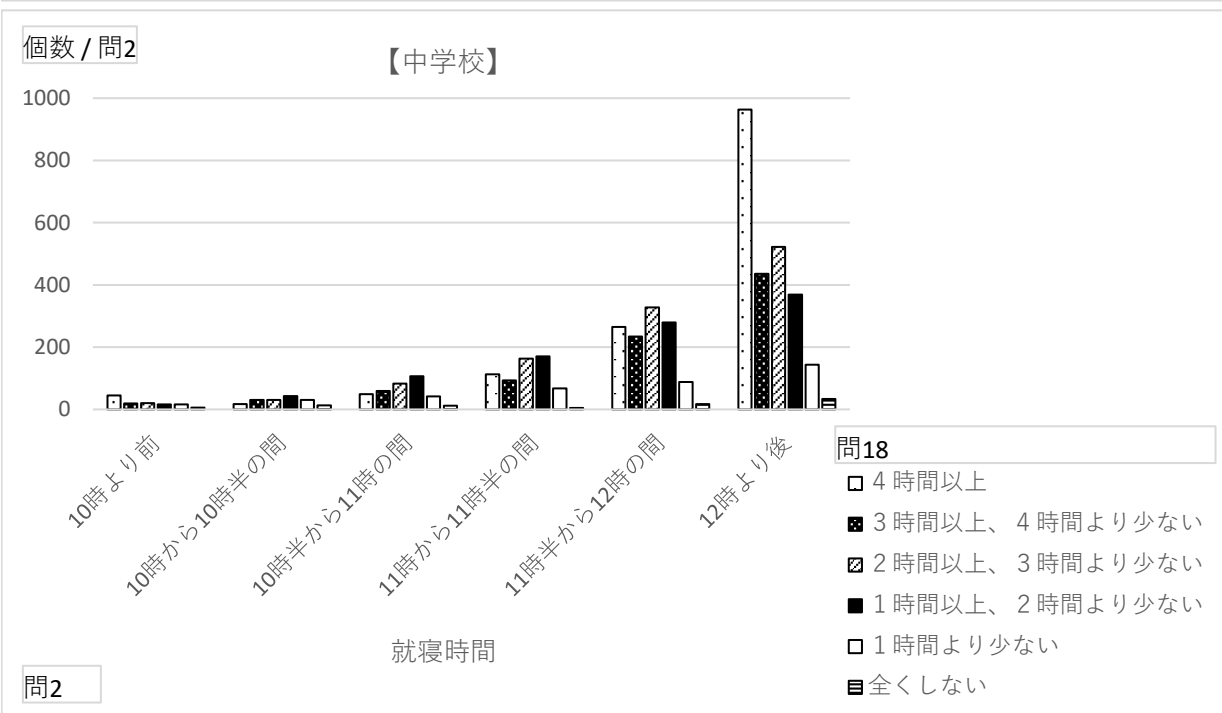
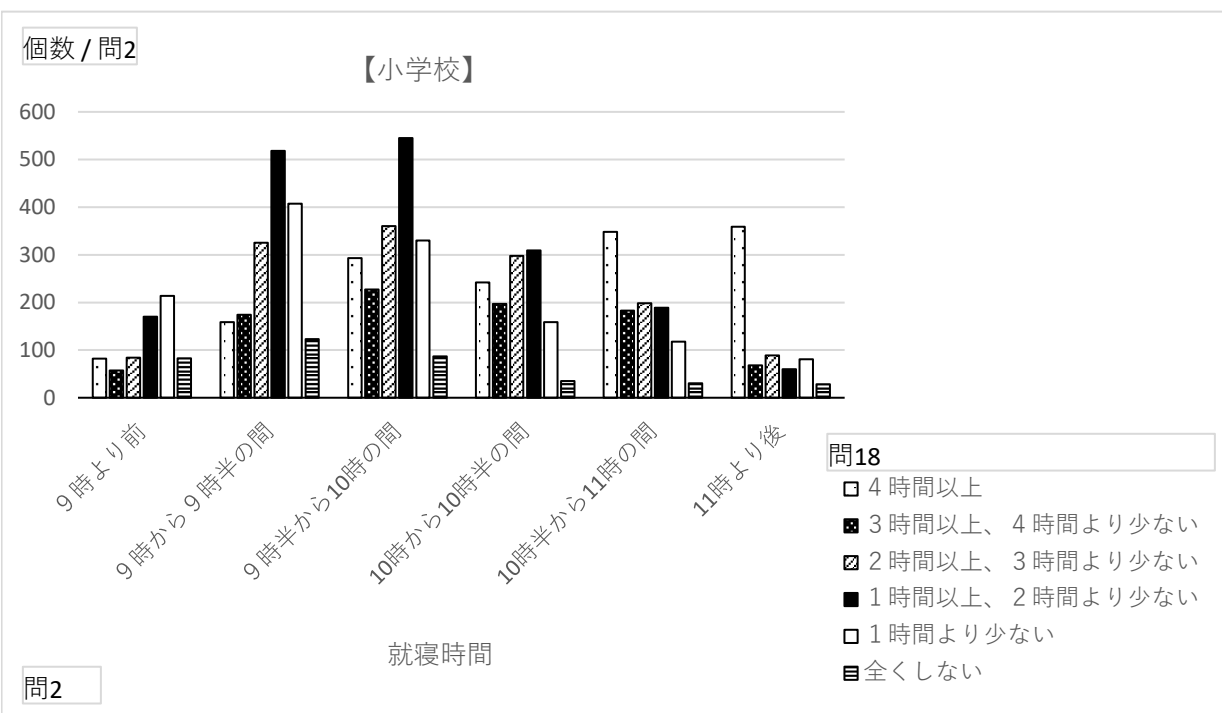
睡眠時間に関しては、遅くまで起きている子の多くが、4時間以上スマートフォンやゲームを行っていることが分かる。そして、4時間以上スマートフォンやゲームを行っている子の教科の平均正答率は低い。小学生のうちから使用時間等のルールを決めておくことはもちろんのこと、中学生もルールの中で使用することの大切さを考えさせなければならない。また、これらのことについて保護者にも周知し、家庭とも連携して取り組んでいく必要がある。

計画的に学習している子、ある程度学習に時間を割いている子の各教科の正答率は高い傾向にある。学校が家庭学習についても指導していく必要を感じる。授業の復習になるような宿題を出すだけでなく、さらに学習したくなるような宿題を出したり、よりよい家庭学習の取り組み方を子どもたちだけでなく保護者にも提示していくとよいのではないだろうか。

また、読書が好きな子、新聞をよく読んでいる子の国語の平均正答率は高い傾向にある。大和市としては、学校図書館の整備、学校司書の配置、学校図書館スーパーバイザーの配置、こども新聞の配架等行っている。ぜひ、これらを積極的に活用し、「読む」ことを好きであり続ける子どもたちを育成していただきたい。

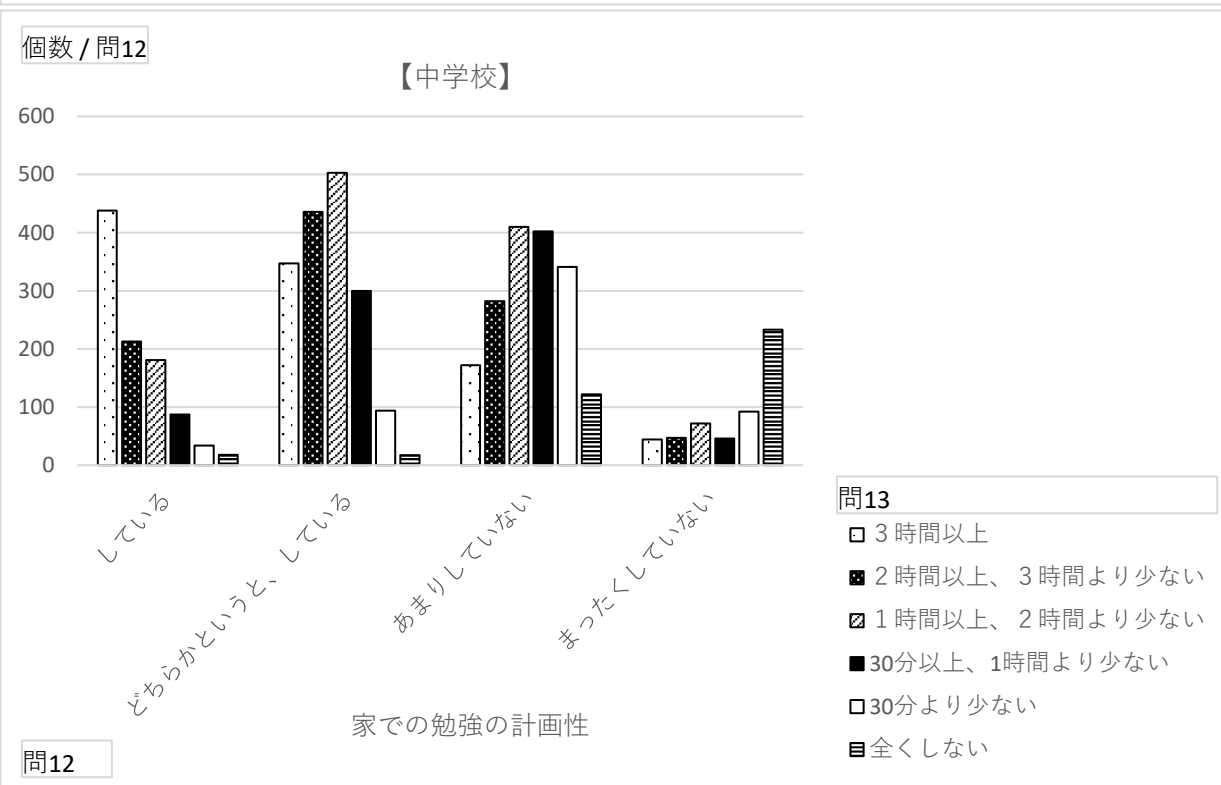
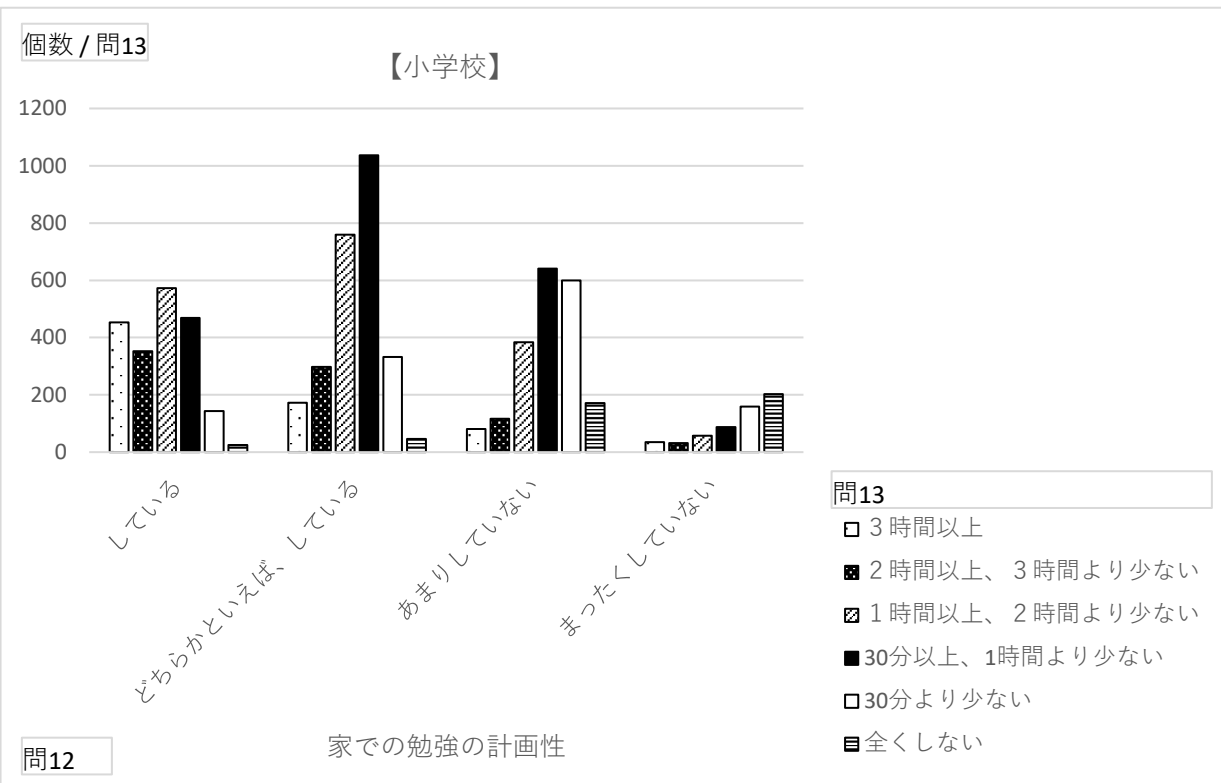
令和3年度 質問調査小学校・中学校分析結果

●就寝時間(問2)とゲーム・インターネット時間(問18)とのクロス集計



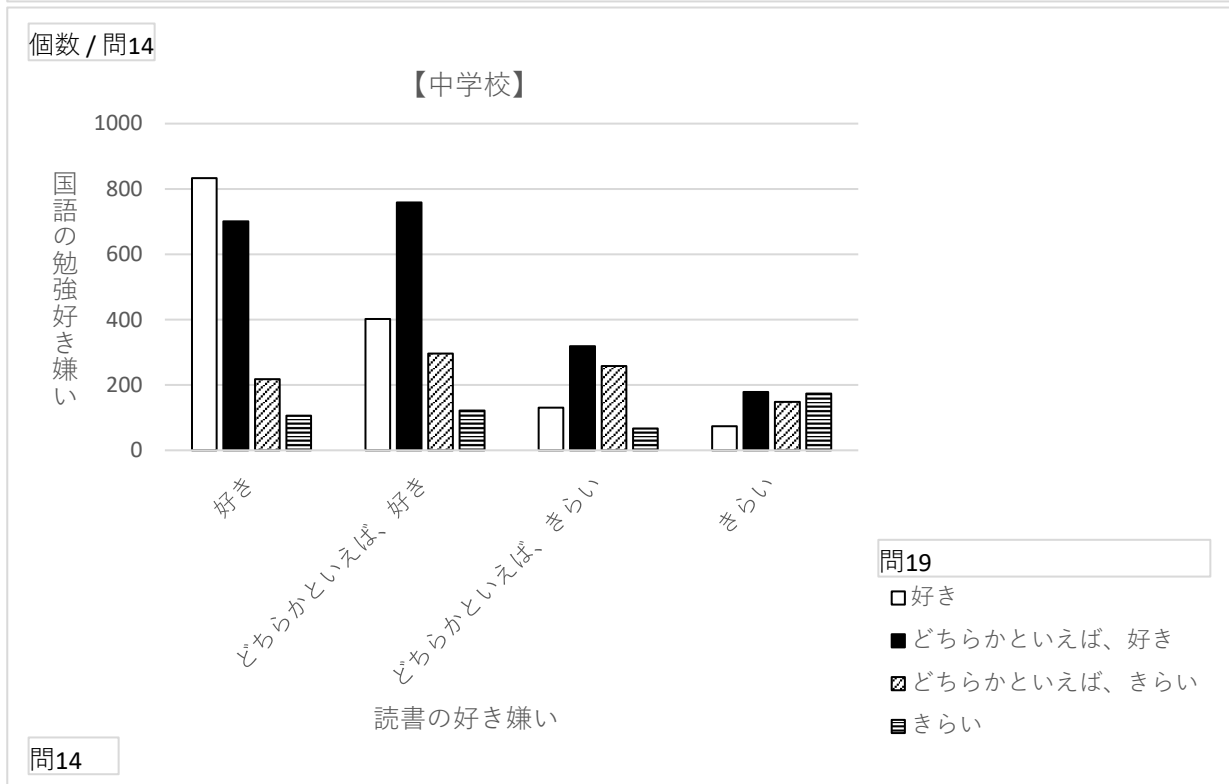
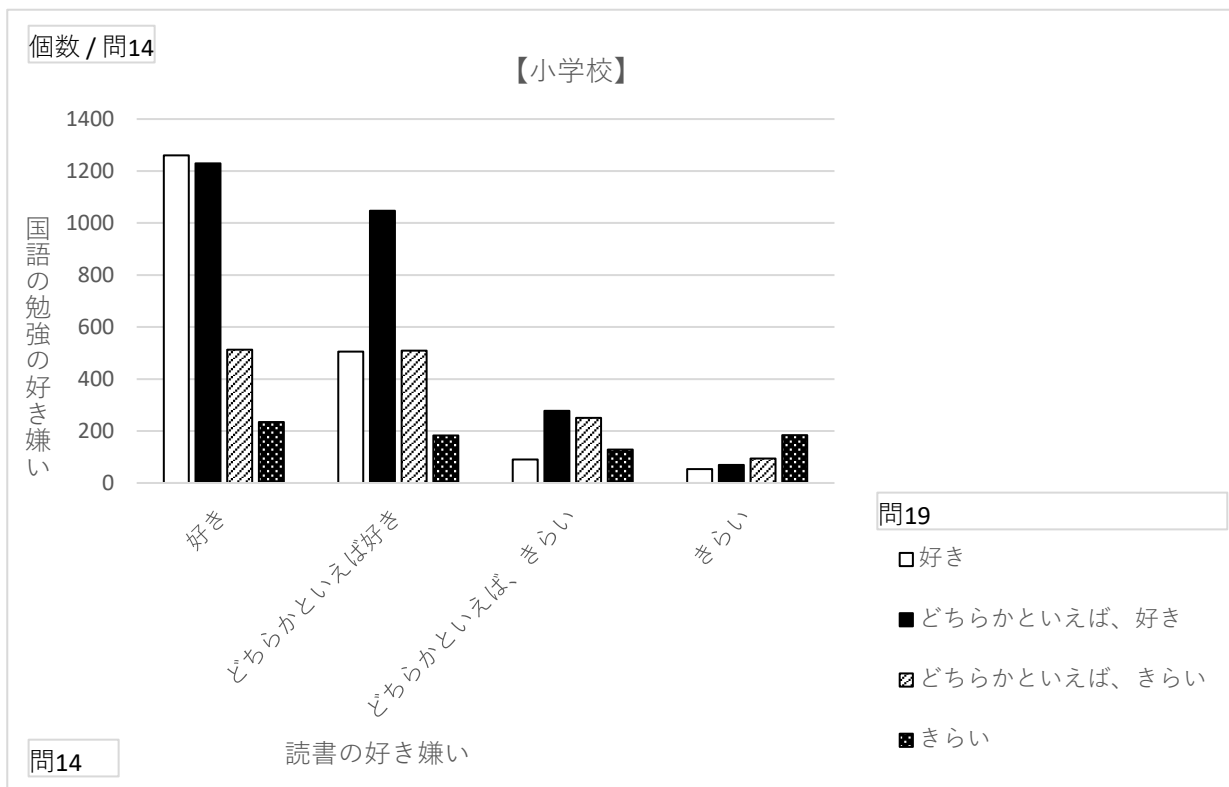
就寝時刻の遅い子が、4時間以上ゲームやインターネットを使用していることが多い。ゲーム等の使用時間や規則正しい生活を送ることの大切さを指導していく必要があると感じる。また、子どもの使用実態を保護者が把握しているのか、使用時間や就寝時のスマートフォンの置き場所など、家庭でのルールを設けている世帯がどのくらいあるのかについても気になる。

●家での勉強の計画性(問12)と、学校以外での勉強時間(問13)のクロス集計



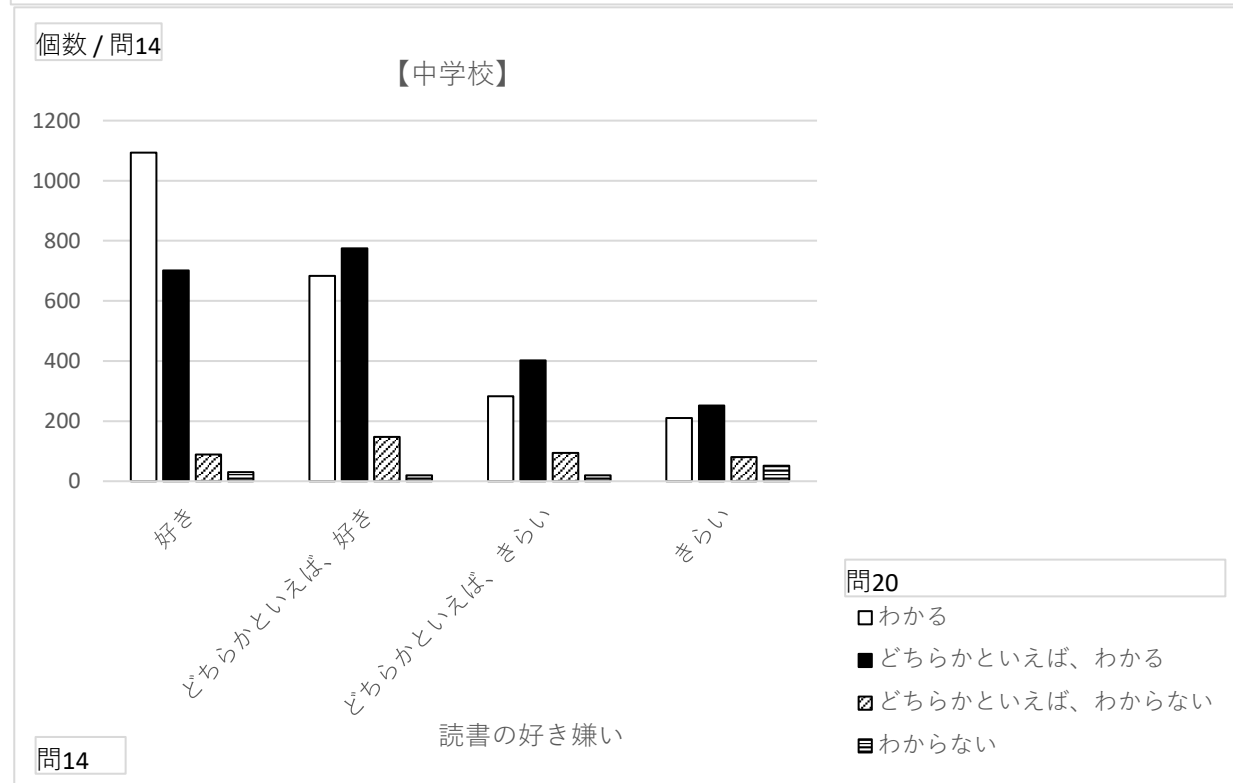
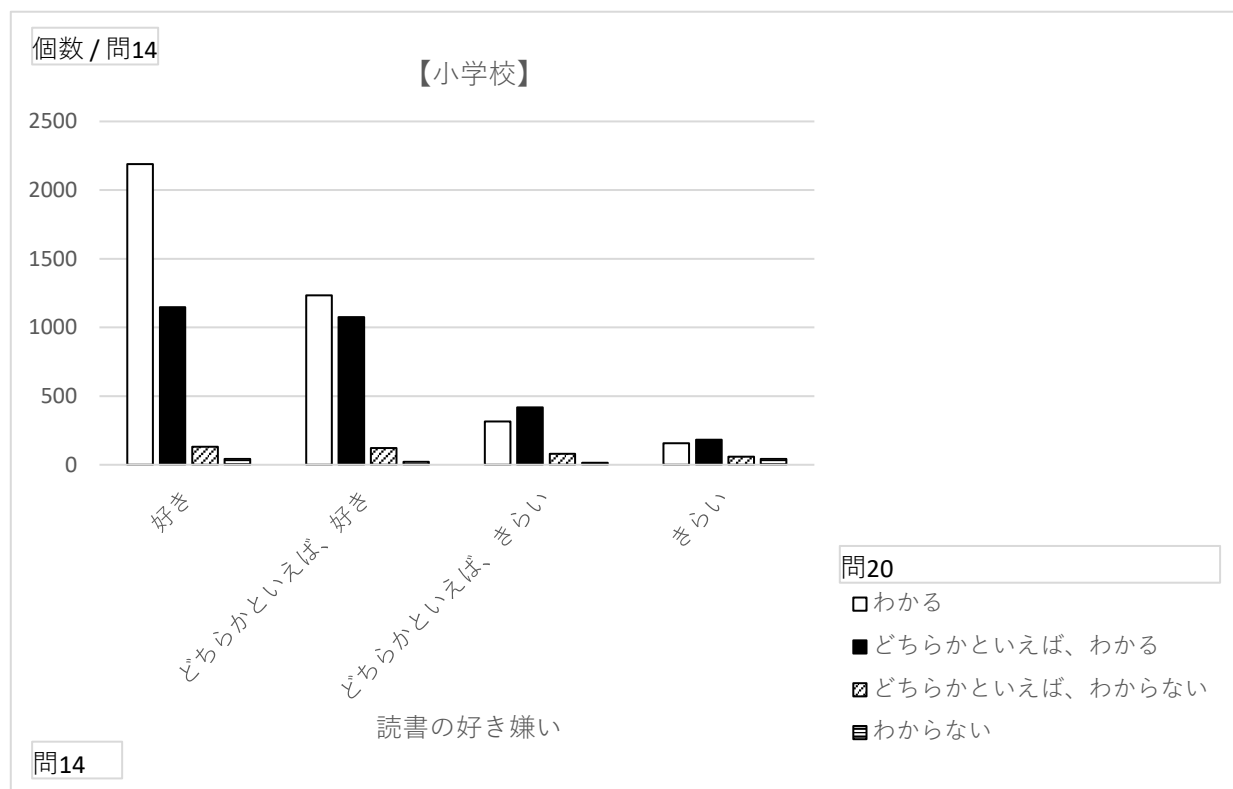
計画的に学習している子の方が、学習時間が長くなる傾向が見られる。計画的に学習していないと回答している子は、学習時間を全くとっていない割合も高い。家庭学習を計画的に進める方法を紹介するだけでなく、自分が得意とする学び方や合っているやり方について児童生徒が自己認識できるよう支援していく必要があると考える。

●読書の好き嫌い(問14)と、国語の勉強の好き嫌い(問19)のクロス集計



読書が好きであることで、国語も好きであると回答している子が多い。小学生の読書好きの割合が高いことから、読書が好きな子を育てることで、国語も好きでい続けられるのではないかと考える。学校では、自分の好きな本を紹介しあう対話的な活動を取り入れている学校も増えており、今後も読むことをきっかけに、考えを伝え合う機会を意図的に設けるなど、表現力や理解力を育てる質の高い読書に繋げていきたいと考えている。

●読書の好き嫌い(問14)と、国語の授業内容の理解度(問20)のクロス集計



前問とも関連するが、読書が好きの子が国語の授業の内容が分かると回答している割合が高い。このことは、読書量に伴う児童生徒一人ひとりの語彙力とも関係しており、様々なジャンルの本にバランスよく触れることで、学習内容の理解に繋がる語彙が増えていく。読書の苦手な児童生徒に対しては、授業内容を理解するための語彙を増やすために教科書の語彙表などを活用し、計画的に身につけさせていくことが必要である。

令和4年4月21日

大和市教育委員会指導室

「子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰」の受賞について（報告）

令和4年度 子供の読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰

受賞校 大和市立下福田中学校

受賞基準 子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について、特色ある優れた実践を行っている学校であること。

子供の読書、学校図書館の活用、図書館等との連携など読書を推進する近年の活動が顕著に優秀と認められること。

<下福田中学校の取組>

○学校図書館担当教諭と学校司書により、教科・行事・時事問題等に関連したディスプレイが展示され、生徒の読書や学習への関心を喚起する工夫が凝らされています。

○図書委員会では、貸出冊数向上の具体的な数値目標を立て、実現に向けてのアイデアを生徒自身が考え、ポップ、図書館クイズ、本の紹介プレゼン作成と配信等を行いました。

○過去4年間の学校図書館活用実績は、以下のとおりです。

- ・生徒一人あたり年間入館回数は倍増（平成29年度14.5回→令和元年度30.6回）。
- ・生徒一人あたり年間貸出冊数は倍増（平成29年度4.2冊→令和元年度9.9冊）。
- ・感染予防のための入館制限を設けた中においても、生徒の読書活動を保障する取組として、「読書感想文におすすめの1冊」等、3冊の生徒向けガイドブックを発行した結果、令和2年度の生徒一人あたり年間入館回数は26.4回（市内全9中学校平均9.4回）、一人あたり年間貸出冊数は10.9冊（市内全9中学校平均5.3冊）。

○「青少年読書感想文全国コンクール」や「いっしょに読もう！新聞コンクール」等に学校をあげて参加し、入選・入賞者を出す等の成果を上げています。

*同校は、NIE実践指定校の認定を受けています（平成30年度～令和3年度）。

○令和4年4月23日（土）表彰式（国立オリンピック記念青少年総合センター）

○大和市内の小中学校の受賞校は、通算6校目、昨年度の上和田中学校に引き続き、中学校は2度目の受賞となります。

<参考：大和市内小中学校の過去の受賞校>

平成23年度：桜丘小学校

平成24年度：林間小学校、南林間小学校

平成30年度：文ヶ岡小学校

令和3年度：上和田中学校

令和3年度 不登校を考えるフォーラム 実施報告

1. 目的 不登校の未然防止・早期対応の重要性について理解を深め、不登校に対する適切な支援の在り方を考える。
2. 日時 令和4年1月22日（土）14：00～16：00
※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、教職員向けの研修としてオンラインで実施しました。
3. 内容 <いじめ・暴力行為等防止ポスター表彰式>・・・各校で表彰
<大和市の児童生徒支援について>・・・青少年相談室長
「大和市の現状と児童生徒支援の内容、今後の方針について」
<基調講演>
「児童生徒の社会的自立に向けた支援について」
認定NPO法人フリースペースたまりば 理事長 西野 博之氏

4. フォーラム参加者

	小学校長	その他教員	中学校長	その他教員	合計
人数	17	11	6	1	
合計	28		7		35

5. アンケート回収率：約94%

講演についての参加者の感想

- ・ 講演の事例が豊富で分かりやすく、とても良かった。
- ・ 今後の具体策を考えていく上で、とても参考となりました。
- ・ 1回の講義でしたが、西野先生の講話の中に出てきた数々の言葉、エピソードから、衝撃・反省・共感・創造が頭の中で巡りまわっていました。自分なりに解釈し、学校経営に絶対、活用しようと思いました。
- ・ 子供の気持ちに寄り添い待つことの大切さを感じました。来週からの児童との向き合い方に生かしていきたいと思います。
- ・ 不登校の生徒、保護者へ行っている支援について再考させられる内容で、ぜひ他の職員にも伝えていきたいと思います。
- ・ 多様な受け入れ場所を考えていくことは大切だと思いました。また、お話にもありましたが、社会全般として大人に余裕がなく、学校では保護者の方の学校に対するご意見等でそれを強く感じます。保護者も自信を持って子育てできる支援・助言も考えなければいけないとも感じています。
- ・ 不登校の児童の対応のためにどうしても原因を追求したくなりますが、現状を受け入れることが、まず大切なことだということをあらためて自分に言い聞かせながら、取り組んでいかなければと感じました。一方で学びの場は多様だと思いつつも、学校でしか得られないものもあるのだろうと思います。
- ・ 先生のお話の中に「学校が安心して安全で楽しく学べる場なら子どもたちは行きたいと思っている。」という一言を聞き、私自身もそういう学校を作っていけるよう一教員としても頑張っていかななくては行けないと思いました。
- ・ 改めて子どもたち、保護者の声や背景を考えることの大切さを感じました。別室に登校できている児童に対して、今できること、できそうなことを考え、探りながら、校内でのチーム支援の強化、各支援機関との連携に努めていこうと思います。

- ・担任としてどのように接していけばよいのか毎日悩んでいたのも、具体的なお話を聞くことができ大変学びになりました。来週からの対応に活かしていきます。
- ・多様な子どもたちを支えていくために、学校がどう変わっていくのか？家庭がどう変わっていくのか？家庭をどう支えていくのか？学校・地域・市がそれぞれ考え、変わっていかなくてはいけないのだと思いました。
- ・西野先生のご講演は、良い意味でショッキングであり、大変勉強になりました。ありがとうございました。不登校の状態にいる児童への学校側の眼差しも変えていかなくては行けないと思いましたし、その1つの形としての現れが、4月から開校される特例校なのだとは合点しました。
- ・講演を聞くうちに、学校の役割について改めて考えていかないと感じました。お話の内容は、学校に来ることができている子どもたちにも当然当てはまるものだと思います。いただいた資料を再度読み返し、校内でも共有したいと思います。
- ・保健室で過ごす子どもたちと接している中で、何を目標にしていったらいいのか、何をもちて成果と言えるのか疑問を感じることもありましたが、その子どもたちが少しでも安心して、少しでも楽しく過ごせるように、たくさんおしゃべりをして、子どもたちのやりたいことや興味を優先しながら関わっていきたいと思いました。保健室にいた時間が意味のある時間になることを信じてまた子どもたちとのやりとりを楽しんでいきたいと思います。支援に関わっていける人員が増え、畑に収穫に行ったり、調理実習を試みたりできる日がまた来るといいなと思いました。
- ・今日の西野先生の話の中で、自死、不登校は、大人の不安が反映されているとお話されていたが、子どもに接する心構えとして、寄り添う、受け止め、笑顔で接していきたいと思いました。職員にもそのように話していきたいと考えます。
- ・本来様々な教育活動を通じて人と人とのつながりの大切さや素晴らしさを子供たちに体感させてきたはずの学校が、コロナによる様々な規制や禁止により、息苦しい場所になってしまっていることにジレンマを感じています。子どもたちが自己肯定感をもてるよう、学校が楽しい場所であるよう工夫しながら一人ひとりの子どもに寄り添い大切にしていきたい。共感や示唆に富んだ講師の先生のお話でした。